

校内研究だより #1

今日的な課題に
適応PT

第1学年 学級活動 (3) 「たのしいえんそく」

《授業について》

6月2日月曜日、今年度初となる校内研究授業を行いました。今回の校内研究は、第1学年の学級活動(3)として、「充実した遠足にするために、2年生と一緒にしたいことや2年生にしてもらいたいことについて話し合い、自分たちに合っためあてを立てることができるようにする。」ことをねらいとして授業を行いました。今回は、その様子をお伝えいたします。

①【つかむ】

授業は直近の行事や学習にはどのようなことがあったかを問うことから始まりました。問われたこどもは、「運動会のダンス玉入れが楽しかった。」や「学校探検で、2年生が案内をしてくれたことが嬉しかった。」と答えました。その後、遠足で行く水族館や公園について、イラストを少しずつ出したり、一部分を隠したりして、こどもに当てさせました。こどもは、とても楽しそうにクイズを行っており、本時の学習に前向きになっていました。



③【みつける】

さて、具体的に何を伝えたいかを見付けるために、授業者は「2年生とどのようなことがしたい?」と問いました。そうすると、「公園で滑り台を滑りたい。」「鬼ごっこをしたい。」という発言が多く出ました。しかし、公園に関する意見だけが出ていたところ、授業者がさりげなく水族館について聞き、公園だけに向いていたこどもの意識を水族館に向けることで、公園と水族館の両方の観点から考えが出ました。



②【さぐる】

「さぐる」段階では、ただ遠足に行くのではなく、「2年生と一緒に行く」ということを意識づけられるように、運動会や学校探検の写真を示しました。また、「2年生がこの時、どんなことをしてくれた?」と問うと、「案内の言葉や絵を考えてくれた。」という振り返りから、「2年生にお返ししたい。」と発言する子がいました。このような意見から、「えんそくで2ねんせいにつたえることをきめよう。」という本時のめあてがたちました。



④【きめる】

意思決定をする場面では、それぞれが「2ねんせいにつたえたいこと」を意思決定しました。今回は、発達段階を鑑みて、一人一人が紙に書いて意思決定するのではなく、各々の「つたえたいこと」を、模造紙にまとめることにしました。本時では、1年2組が作成したものを提示したところ、「自分たちも作りたい!」という声が多く挙がりました。最後には、「楽しみな遠足に行くぞー!エイエイオー!」と拳を天高く突き上げ、楽しく授業が終わりました。



指導・講評

◎授業者は笑顔で授業をしており、とてもよかった。こどもが授業を楽しく受けるためにはとても大切。

◎授業者の声の大きさやトーンがちょうどよく、こどもたちが引き込まれていた。

△本時は遠足の事前指導であるため、人間関係に留まらず、公衆道徳についても指導する必要がある。

△ロールプレイを行ったことはよかったが、何を言うべきかを例示してあげると、こどもが具体的な場面を想像しやすくなる。始めと終わりをしっかりと区切ったことはとてもよかった。

・座席を前向きにするのではなく、「コの字型」にすることで、お互いの顔を見ることができる。そうすることで、前向きの際は、誰が手を挙げているのかが分からず、自信がもてないが、「コの字型」では、誰が手を挙げているのかが分かるため、自信をもって挙げられるようになる。

・行事の指導では、学習指導要領特別活動編の「学校行事の内容の取扱い」にもある通り、「振り返り」を充実させてほしい。

つかむ

今までに経験した行事や
学習を振り返る。



さぐる

遠足で水族館へ
「2年生と一緒に」
行くことを知る。



みつける

遠足で2年生としたいこと・
してもらいたいこと
について話し合う。

きめる

「みつける」段階で出たことを基に、
2年生に特に伝えたいことを
自己決定する。



授業後、
「遠足で2年生に伝えたいこと」
を模造紙に表現しました。